

●ニュース  
市民協働事業  
公開審査会が  
行われます！

# いた便り No. 12

2007. 9. 1



岡崎まち育てセンター・りたは、市民活動を応援します。



## 3 年間

8月は、東部地域交流センター整備計画に関する市民検討ワークショップが始まりました。東部地域交流センターは、岡崎市内4箇所に設置が予定されている地域交流センターとしては最終の4号館にあたります。藤川駅周辺の整備（道の駅や道路の整備）とあわせて進捗する都合で、開館は平成22～23年を予定しています。りたは、市民協働の拠点施設である地域交流センターの計画と運営を支援すべく、市民と行政の協議の場（市民検討ワークショップ）をコーディネートしています。



9月9日（日）13:00～、コミュニティサテライトオフィス（松坂屋6階）にて、市民協働事業公募に関する公開審査会が行われます。平成16年に設置された市民協働推進会議から提案され、平成17年から始まった市民協働に関する提案事業も、今年で3年目を迎えます。「市民が担う新しい公共」の具体化として、今後も着実な取り組みとして広がっていくことを支援していきたいと思えます。



### スタッフ紹介

#### まち育て・市民協働を学んで(前編)

※岡崎市南部地域交流センターに配属された、りた事務局員・岡田貴浩のコラムです。

\*\*\*\*\*

私は今まで、地域社会のことや市民活動にはほとんど関わっておらず、あまり関心がありませんでした。しかし、岡崎まち育てセンター・りたの職員となってから、私たちのまち岡崎市、歴史あるこのまちで、これからまち育てを行っていくにあたり様々なことを学びました。

物理的な要求が満たされつつある現代において、従来の行政主導の公共サービスでは、多様化している住民の心のあり方やニーズに対応するには限界があり、また、行政に依存するだけでは、過去にそうであったように物理的な部分の解決のみにとどまってしまう、生活や心の交流のある地域社会を実現するのは難しいと考えられます。

また、自分たちのまちを自分たちで守り、育てていくためには、何よりも行政と市民・市民活動団体が共に協力し合い、自主的に問題を解決していくことが、持続可能な住み続けたいまちになることにつながっていくと感じています。

もちろん、個人自らが解決できることは個人で行うのは当然ですが、個人では不可能なことや非効率的なことは地域社会が行い、それでも不可能なことは行政と協働して行っていくといった「補完性の原則」をもとに展開していくことが必要とされています。

（次号に続く）



岡崎まち育てセンター・りた

団体会員（年会費 10,000 円）

個人会員（年会費 3,000 円）

☆ご推薦の団体などお心当たりがありましたらご連絡ください。

事務局（TEL 0564-45-4560）

## 会員募集中です！



# 子どものまち「なごみん横丁」が開催されました！

## 1. はじめに

去る8月7日から11日までの5日間、北部地域交流センター（なごみん）にて、子どものまち「なごみん横丁」が開催されました。「なごみん横丁」とは、小中学生を対象とした子どものまちで、子どもたちの夢見る力、創造する力、共同する力を養う“体験とあそび”の場です。役所や銀行、お店などがあり、子どもたちが主体となって運営される子どものまちは、ドイツ・ミュンヘン市で30年弱の歴史を持つ「ミニ・ミュンヘン」が原型となっています。当初の予想をはるかに上回る、延べ888人の子どもがなごみん横丁の“丁民”になり、小さな企業家、議員、丁長さんが生まれ、わいわいがやがや楽しくまちが運営されました。

表：なごみん横丁の来場者数（人）

	7日	8日	9日	10日	11日	計
新規登録者	132	85	92	70	42	421
リピーター		86	119	131	131	467
計	132	171	211	201	173	888

## 2. なごみん横丁のしくみ

なごみん横丁を訪れると、まずは「なごみん役場」で住民登録をして、“パスポート”をもらいます。なごみん横丁のしくみについて説明を受け、横丁長にハンコをもらおうと、「なごみん銀行」にて“10じゃん（なごみん横丁の通貨＝じゃん）”が支給されます。次に職業安定所「なごみんワークス」に行くと、求人情報に目を通し、自分のやりたい仕事を見つけて働きます。職業や仕事の内容に関わらず、30分働くと“30じゃん”の給料がもらえますが、うち20%にあたる6じゃんは税金として役場に徴収されます。

自分で商売を始めたい人は、役場に“30じゃん”支払い区画を借りて出店することができます。1じゃん均一の間屋さんで折り紙や風船、厚紙など資材を買い込み、マジックやはさみなどの道具と知恵を駆使して、商品を“生産”し、自分で価格をつけて商いをします。



警察官：観光パスを持ってない大人を取り締まったり、困っている人を助けてくれます。



丁民集会の様子



さらさ  
丁長

第1回選挙で選出された丁長と議員さん

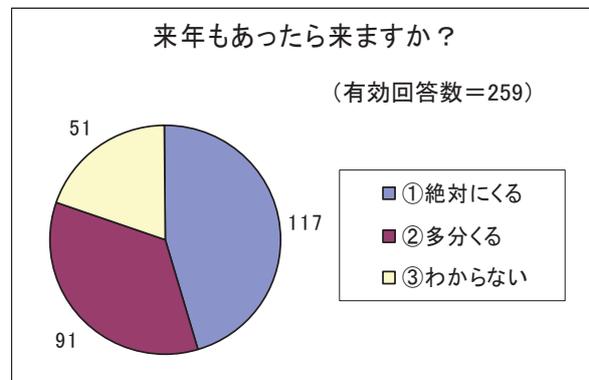
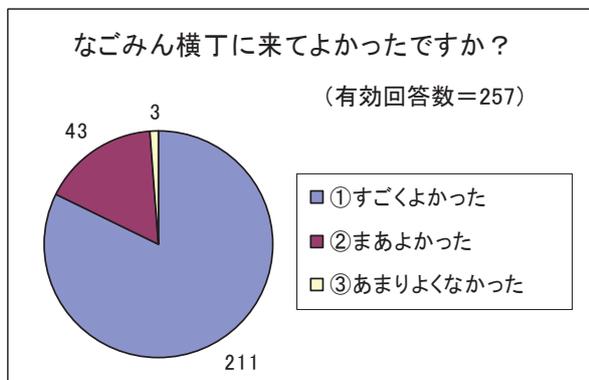
### 3. なごみん横丁の5日間

役場、銀行、なごみんワークス、問屋、情報局、交番といった公的な仕事のほか、5日間で延べ63の店舗が生まれました。手作りアクセサリや小物を扱うかわいい雑貨屋さん、的を倒すと景品がもらえる射的屋さん、マッサージ屋さん、くじ屋さん、店舗スペースを貸す不動産業など、様々なお店がしのぎを削り、ステージでは子ども芸人によるお笑いライブなどが行われました。2日目と4日目には選挙で丁長と3人の議員が選出され、丁民集会で意見を募ってなごみん横丁の方針をみんなで考えました。



### 4. 来場者アンケート結果

なごみん横丁に来場した子どもたちにアンケートを実施しました。調査は7日から11日の各日終了後の退出時に行いました。



「なごみん横丁に来てよかったですか？」という質問に対しては、約82%の人が「すごくよかった」と回答しました。3名ほど「あまりよくなかった」と答えた子どももいますが、ほとんどすべての子どもに楽しんでもらえたようです。

「来年もあったら来ますか？」という問いには、約45%が「絶対にくる」、約35%が「多分くる」と答えています。来場者数の表からもリピーター率が高いことが分かり、一度なごみん横丁を体験した子どもは、もっと来たいという意欲を持っていることがわかりました。

これを受けて、来年はさらにパワーアップして「なごみん横丁」を開催したいと考えています。

\* \* \* \*

今回、ミニ・ミュンヘンの岡崎版を実施するにあたって、愛知県の『近隣コミュニティ提案型地域づくりモデル事業』として選定され、岡崎市、岡崎市教育委員会の後援、および岩津商工発展会、遊友会、岩津高校、地域お住まいの方々ほか、多くの皆さまのご協力を得て、開催にこぎつけ、無事全日程を終えることが出来ました。ありがとうございました。



## 事務局長のつばやき …事務局長・小澤、渾身のコラムです。



7月号のコラムでご紹介した企業の不祥事は、利益だけを追求してしまったが為に、いつしか経営判断を誤ってしまったのだと思います。ここで我々が学ばなければならないのは、利益を追究すると同時に顧客が求める価値をいかに満たすかという事なのでしょう。その両者があって初めて正常な企業なのです。

市民が企業に求める価値は、どんなものなのでしょう。大お得意様ベスト10をリストアップし、なぜ貴社をごひいきにしているのか、その明確な理由をつかみ自身の企業を見つめると、ほんの一部かもしれませんが、企業の社会的責任を果たす役割の糸口になるのかもしれませんが。

企業の社会的責任（CSR）とは、法令遵守、人権擁護、環境配慮、社会貢献など幅広い意味を持ちます。同様にNPOは、企業ではないが責任ある団体として、様々な問題や地域貢献など地域に対する社会的責任を果たす大変重要な役割を担っているといえます。各人が自覚を持ちながら地域貢献を続けていきたいものですね。

私は“りた”の事務局長であると同時に、一企業の経営者ですが、NPO活動が「顧客の為に役に立つ」という精神と行動を心に刻み込む上で、カンフル剤のようなものであると感じています。

## 岡崎まち育て情報 …岡崎市内各所のまち育て活動を支援し、市民と行政の対話を促進しています。

### ①「東部地域交流センター市民検討WS②」

日時：9月15日（土）13:30～16:30  
場所：藤川学区市民ホーム、建設現場  
主催：岡崎市／市民協働推進課事業推進班  
内容：建設予定地に出向き、どのような施設計画が望ましいかに関して意見交換。

### ②「第10回 りぶらサポーター交流会」

日時：9月29日（土）13:30～16:30  
場所：コミュニティサテライトオフィス  
主催：りぶらサポーター支援会議  
協力：教育委員会康生地区拠点開設準備室  
内容：市民が和み、憩い、交流する共用空間の備品計画に関して意見交換を行います。

## 専門家派遣情報

…近隣地区の人材育成や、まちづくりフォーラムを支援します。



### ①「市民協働事業審査会」

日時：9月9日（日）13:30～17:00  
場所：コミュニティサテライトオフィス  
主催：岡崎市／市民協働推進課市民協働班  
内容：公募された市民協働事業の公開審査会。

### ②「市民協働の仕組みを考える市民会議」

日時：9月12日（火）18:30～20:30  
場所：岡崎市福祉会館304  
主催：岡崎市／市民協働推進課事業推進班  
内容：市民協働推進条例策定の検討会議。

### ③「豊田市支所職員研修」

日時：9月13日（木）13:00～17:00  
場所：豊田市役所南庁舎4階団体会議室  
主催：豊田市自治振興課  
内容：平成17～19年の地域会議事業を評価し、次年度以降の事業展開を考える。

### ④「自治支援部会」

日時：9月21日（金）19:00～21:00  
場所：岡崎市福祉会館2階会議室  
主催：りた自治支援部会  
内容：まち育てファンド進捗状況について報告し、今後の進め方を話し合います。

事務局  
より

9月4日から、  
ファクス番号が変更になります。  
(右記を参照下さい)

〒444-2147 岡崎市西蔵前町字季平45-1  
岡崎市北部地域交流センター・なごみん内  
NPO 法人岡崎まち育てセンター・りた事務局  
☎(0564)45-4560 Fax(0564)45-1560